

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、大手行からは0.06~0.065%ビッド、地銀・信託業態からは0.07%前後でのビッドが週を通じて見られた。国債発行要因で資金不足気味の週となったが、高水準の当座預金残高を背景に、取りあがる動きなどは特段見られず。週間の無担保コールO/N平均レートは0.07%台前半程度で推移した。ターム物は大手行のビッドが散見された。固定金利方式の共通担保資金供給オペは20日と23日に3M物・8,000億円がオファーされ、それぞれ3,000億円と2,070億円のロールと見られる応札があり、札割れとなった。22日には1W物の米ドル資金供給オペがオファーされ、事務手続きの確認と見られる応札が200万ドルあった。

今週は27日に20年債の発行要因などがあるものの、それ以外に目立った需給要因は無い。無担保コールO/N平均レートは0.07%近辺で落ち着いて推移しよう。

2. オープン市場

先週の短国市場は、依然として足元のファンディングレートが高止まっているものの、海外勢の買いや短国買入オペの安心感から、堅調に推移する一週間となった。入札は21日に2M物、23日に3M物が実施され、落札結果は2M物が平均落札利回り0.0626%、按分落札利回り0.0638%と堅調な結果に。3M物は平均落札利回り・按分落札利回り共に0.0581%と、0.06%割れとなる強めの結果となった。3M物入札直後のセカンダリー市場では、ショートカバーから0.055~0.057%まで買い進まれる動きも見られた。24日には2兆5,000億円の短国買入オペが実施され、平均利回較差▲0.002%、按分利回較差▲0.004%と堅調なマーケットを反映した結果となった。週末の出合いは3M0.05~0.055%、6M~1Y0.045~0.05%と、全体的に強含みとなっている。

先週のCP市場は週間償還総額4,500億円程度に対し、幅広い業種から大型の発行案件が見られたことで、発行総額は9,400億円程度まで膨らんだ。21日には当月2回目となるCP等買入オペが実施された。電機・鉄鋼・石油セクター等の売却ニーズが強い銘柄が対象となったこともあり、入札結果は平均落札利回り0.085%、按分落札利回り0.082%と、前回とほぼ横ばいの結果となった。発行レートもa-1+格で0.08~0.09%、a-1格で0.09~0.10%と上昇基調にあり、CPオペの結果を受けて、一部の銘柄ではレート水準を切り上げる動きも見られた。

来週の短国市場は、30日に3M物の入札が実施される。順調な結果が見込まれるが、オペの動向次第では更に強含む場面も予想される。CP市場は、月末を迎えることで発行案件が膨らみ、発行レートも引続き上昇基調で推移していくと思われるが、0.10%近辺では投資家の買い圧力も強く、レートの上昇余地は限定的か。28日にはCP等買入オペ4,000億円が予定されている。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1,300億円程度の発行超見通し。財政資金は、27日の20Y発行を中心に16,600億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で1兆7,900億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<27日>TB3M;償還54,500億円・発行57,000億円 / 20Y;発行12,000億円<30日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円 / 流動性供給;発行3,000億円

2013年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
1/27 (月)	1,100	△ 17,000	△ 15,900	全店共通(固) CP買入 社債買入	△ 1,400 △ 800 △ 500	2,100	△ 600	△ 16,500
1/28 (火)	1,000	1,000	2,000	短国買入 国債買入		25,000 7,000	32,000	34,000
1/29 (水)	△ 1,000	2,000	1,000				0	1,000
1/30 (木)	△ 2,000	△ 1,000	△ 3,000				0	△ 3,000
1/31 (金)	△ 400	△ 1,600	△ 2,000	CP買入		4,000	4,000	2,000
週間合計	△ 1,300	△ 16,600	△ 17,900		△ 2,700	38,100	35,400	17,500

(注) 上表の1/27は日銀予想、1/28以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
1/27 (月)	金融政策決定会合議事要旨 (12月19, 20日分8:50) 12月の貿易統計 (財務省 8:50)		12月の米新築一戸建て販売件数
1/28 (火)	12月の企業向けサービス価格指数 (日銀 8:50)	流動性供給 3,000億円 1/30発行	米FOMC (1日目) 11月のS&P/ケース・シラー住宅 価格指数 12月の米耐久財新規受注 1月の米CB消費者信頼感指数 10-12月期の英GDP速報値
1/29 (水)			米FOMC (2日目)
1/30 (木)	12月の商業販売統計速報 (経済産業省 8:50)	TB3M 57,000億円 2/3発行	10-12月期の米GDP速報値
1/31 (金)	12月の労働力調査 (完全失業率 総務省 8:30) 12月の全世帯家計調査 (総務省 8:30) 12月の一般職業紹介状況 (=有効求人倍率 厚生労働省8:30) 1月都区部・12月全国消費者物価指数 (CPI 総務省 8:30) 12月の鉱工業生産・出荷・在庫速報 (経済産業省 8:50) 12月の住宅着工統計 (国土交通省 14:00)	交付税借入 10,500億円 2/12借入	12月の米個人所得・消費支出 1月のシカゴPM景況感指数 1月のユーロ圏消費者物価指数速 報値

1/30 預保借入 2/7借入

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。